

□5月4日説教(隅野徹牧師)短縮版
「上にあるものを求めて生きる」(コロ3:1～11)

前半の1～4節では、キリストを公に信じ受け入れ、そのしるしとして洗礼を受けることによって、古い自分は、十字架にかかれたキリストとともに死んだのだということが教えられます。さらにキリストによって洗礼を受けたものは、死に打ち勝って復活されたキリストによって新しい命を得たのだと教えられます。

その新しい命はこの地上だけのものではない、天国に続く命だということが、とくに3節と4節で教えられています。「上にあるものを求める」とは、いつか自分が天へ上げられ、神のみもとで永遠の命を生きることを心に留めていきる、ということです。その反対に「地上のものに、心引かれないようにしなさい」とも教えられます。これは物欲や金銭欲といった、いつか消え去るものに心奪われないようにというアドバイスであるとともに、もう一つあると思います。

それはこの地上で報いられない、自分の願う通りにことが進まないと思っても、それに心奪われた状態であってはならない。あなたたちが豊かに報いられるのはキリストと相まみえる時、つまり天の上にあげられたときなのだということだと私は理解しています。

キリストによって古い自分を脱ぎ捨て、新しい命を受けたものは、この地上の目にみえる結果や事柄に縛られるのではなく、未来に与えられると約束されているもの、つまり「上にあるものを求めて生きる」ことができるのです。どうぞ皆様、日々新しくされて上にあるものに目を向け、希望をもって歩んでまいりましょう。(終)